

2025年度事業実績報告の概要（小規模事業経営支援事業費補助金関係）

団体名： 稲沢商工会議所

事業名	事業概要（背景・目的）	事業実績	主たる対象者	事業評価														今後の展開・改善点等	備考							
				目標①			目標②			得られた効果			A B C D 評価				今後の展開・改善点等									
				指標	実績数値	達成率	指標	実績数値	達成率	内容	総合評価	実施評価	自己評価	調査結果	満足度	補足	目標①			目標②						
巡回・窓口相談指導事業	小規模事業者に対し、巡回・窓口（オンライン含む）の手段を用い、業況や経営諸問題の早期解決や事業計画策定と実行支援に努める。また集団・個別指導等として金融・経営・労務・税務において話題性のあるテーマでのセミナーの実施や個別専門家による相談会を開催する。これらにより経営改善普及事業の更なる普及と利用促進を図る。	①巡回指導実企業数 569社（うち非会員数29件） ②巡回指導延件数 711件 ③窓口指導実企業数 341社（うち非会員数23件） ④窓口指導延件数 645件（うち非会員数23件） ⑤課題解決提案件数 40件（経営指導員4名×10件） ⑥経営革新承認件数 0件（経営革新0件）	小規模事業者	指標	巡回窓口指導延件数 (達成度 113.0 %)	1200	実績数値	1356	指標	課題解決提案件数 (達成度 100.0 %)	40	実績数値	40	得られた効果	巡回・窓口指導は、910事業所、延べ1,332事業所にに対し、巡回や窓口で支援を行った。巡回指導では補助金情報などを事業者へ届けたり、生の声で状況を伺うことができた。まだ事業承継でわずかではあるが訪問をしている。	総合評価	A	実施評価	B	自己評価	調査結果	満足度	補足	目標①	目標②	次年度も未巡回事業所や事業主が65才以上の事業所の訪問を中心に巡回指導を実施する。
講習会事業（県費事業）	変化する経済環境への対応に苦慮する小規模事業者に対し、基本的な知識・技術の取得や時事的な問題への啓蒙、ならびに経営上で直面する問題解決に向けた個別専門相談により事業所の質的向上と円滑な事業運営に資する。	集団 経営革新1回2人/環境対策4回8人/労働1回0人 延参加小規模事業者数10人 個別 金融12回10人/税務8回52人/労働6回0人/その他4回4人 延参加小規模事業者数66人	小規模事業者	指標	延参加事業者数 (達成度 47.5 %)	160	実績数値	76	指標	(達成度 %)		実績数値		事業継続力強化セミナー・相談会において、2事業者申請支援ができた。個別相談は、法律相談や商標相談の例年より利用があり身近な相談先として今後も随時開催を行う。	総合評価	B	実施評価	B	自己評価	調査結果	満足度	補足	目標①	目標②	小規模事業者の経営に役立つ話題性の高い内容のセミナーを実施する。	
記帳継続指導事業（記帳機械化）	個人事業主を対象に正しい記帳方法の指導と源泉事務や決算・確定申告の指導を行い、適正な税務申告と経理の自動化や計数管理により経営力の向上を図る。	記帳継続対象事業所47事業所 記帳機械化対面指導延回数519回 指導日数 307日	小規模事業者	指標	指導延回数 (達成度 126.6 %)	410	実績数値	519	指標	(達成度 %)		実績数値		パソコン会計を身につけ65万円控除を受けるために記帳継続指導を希望される方が多い。3年の卒業を待たずに卒業される方もおり、今後ますますパソコン会計の基礎を学ぶ場として利用を期待したい。	総合評価	A	実施評価	B	自己評価	調査結果	満足度	補足	目標①	目標②	青色申告65万円控除を目指す事業者に対し、記帳機械化・記帳継続指導に勧誘を積極的に勧める。	
若手後継者等育成事業	小規模事業者の振興・発展を図るため若手後継者の育成支援を通じ、経営の資質向上や事業承継、また地域社会の活性化に寄与する。	1. 青年部事業 開催回数43回（参加延数 325名） 「うち事業開催内訳」 ①SNS活用セミナー開催14人 ②全国大会への参加 4人 2. 女性会事業 開催回数28回（参加延数 186名） 「うち事業開催内訳」 ①事業承継セミナー開催1回 11人 ②全国大会への参加 1回4人 ③チャリティコンサート開催1回116人	青年部 女性会会員 (小規模事業者)	指標	事業開催延参加人数 (達成度 98.0 %)	152	実績数値	149	指標	(達成度 %)		実績数値		青年部・女性会の事業を通じ、自己研鑽の機会を得ることで、経営者自身の資質向上に繋がった。イベントも開催することができ地域の活性化にも寄与することができた。さらに活動のPRを行いながら、市内の若手・女性経営者に対し、新規の会員獲得に繋げている。	総合評価	A	実施評価	B	自己評価	調査結果	満足度	補足	目標①	目標②	青年部・女性会それぞれ昨年度事業実績に合わせた目標値に変更する。魅力あるセミナー・イベントを開催していく予定。	
地域振興祭事業（あじさいまつり）	平成4年より稲沢あじさいまつりは、大塚性海寺の敷地内の稲沢市歴史公園にて開催されている。期間中は県内外から平日・休日問わず観光客を集容しており、地域振興に繋げ商工業の発展に寄与する。	事業実施による延来場者数41,000名 事業内容 特産品販売、稲沢市PRブース、文化財開放事業実施 令和7年5月31日（土）～6月15日（日）	小規模事業者	指標	延来場者数 (達成度 82.0 %)	50000	実績数値	41000	指標	(達成度 %)		実績数値		開催期間も長く、平日にも関わらず市内外から多くの来場者があるが、今年は来場者が落ち込んだ。特産品販売等の出展業者や地域の飲食店にとって良い効果をもたらしている。	総合評価	A	実施評価	B	自己評価	調査結果	満足度	補足	目標①	目標②	開催期間の変更があり、メインの2日間を中心にイベントが開催されたことによる変更をする。	
地域振興祭事業（夏まつり）	平成8年度に実行委員会主体により稲沢公園にて市民夏まつりを開催してきた。平成28年度から、新実行委員会を構成し、祖父江サリアパーク周辺を会場として花火イベントを行う。	事業実施による延来場者数58,000名 事業実施 ステージ、フリーマーケット、特産品販売 事業実施 令和7年8月24日（日）	小規模事業者	指標	延来場者数 (達成度 116.0 %)	50000	実績数値	58000	指標	(達成度 %)		実績数値		稲沢の花火大会として認知され、多くの人が集う祭として定着した。市内の祖父江地区で行われるものの、当会員出展業者も出展し来客にも貢献している。	総合評価	A	実施評価	A	自己評価	調査結果	満足度	補足	目標①	目標②	来場者は、当日の天候に左右されてしまったため晴天を期待したい。	
地域振興祭事業（稲沢まつり）	まつりの歴史も長く、今では秋の市民まつりとして定着し毎年10月中旬に開催している。ステージイベントや市内の企業ブースも充実し多くの来場者で会場が賑わうまつりである。	事業実施による延来場者数56,000名 事業実施 ステージ、企業ならびに諸団体の展示販売 事業実施 令和7年10月18日（土）・19日（日）	小規模事業者	指標	延来場者数 (達成度 112.0 %)	50000	実績数値	56000	指標	(達成度 %)		実績数値		今年は市内にあるJR貨物稲沢駅100周年とタイアップをしたため、大勢の来場者が訪れ賑わいを創出できた。市内の事業者を中心とした出店業者や近隣の事業者への来客に貢献している。	総合評価	A	実施評価	A	自己評価	調査結果	満足度	補足	目標①	目標②	今年度も多くの出展者が参加できるよう調整をする。限られた予算のなか、多くの来場者に来ていただけるようイベントの充実を図る。	

2025年度事業実績報告の概要（小規模事業経営支援事業費補助金関係）

団体名： 稲沢商工会議所

事業名	事業概要（背景・目的）	事業実績	主たる対象者	事業評価											今後の展開・改善点等	備考		
				目標①			目標②			得られた効果			A B C D 評価					
				指標	実績数値	達成度	指標	実績数値	達成度	総合評価	実施評価	自己評価	調査結果	満足度			補足	目標①
観光振興事業	当地域では、1200年以上の歴史がある天下の奇祭「国府宮はだかまつり」や文化財・歴史遺産の宝庫であり、全国でも指折りの植木・苗木の一大生産地でもある。市内の観光資源を広く情報発信し、特産品開発と様々なイベント会場での販売を通じて文化振興や賑わいづくりにより、地域産業の底上げを図る。	1. 観光産業や資源の情報発信事業支援 2. 観光イベント（あじさいまつり、梅まつり等）への事業者出店支援 10回 3. いなざわ特産品認定委員会開催、特産品認定商品の認定数 38商品	小規模事業者を中心とした商工業者ならびに一般消費者	指標	特産品認定商品数 (達成度 84.4%)	指標	(達成度 %)	3年前からの特産品の継続認定品が減ったため、全体として特産品認定数は減ってしまった。イベントの場でのPRやふるさと納税の返礼品の採用等に力をいれ、事業者の販売拡大に貢献をしていきたい。	総合評価	A	自己評価 C	調査結果 A	満足度	補足	目標① 廃止	目標②	特産品を新たに認定する年に当たるため目標の特産品認定商品数に変更。	
情報収集・提供事業	商工会議所ネットワークを活用して、各地域の景気動向を毎月調査し、リアルタイムの景気観測情報を小規模事業者へ情報提供する。	1. FAX・メールによる調査 毎月1回対象 3事業所 延11社 市内景況調査 四半期ごとに実施 延べ回答数 217社	小規模事業者	指標	市内景況調査延事業者数 (達成度 95.0%)	指標	(達成度 %)	四半期ごとに市内景況調査を実施し、会報誌やホームページにて公表した。サンプル数は少ないものの市内の同業者の景況感を知ることができ、自社の経営判断に役立つ。	総合評価	B	自己評価 B	調査結果 B	満足度	補足	目標① 現行どおり	目標②	アンケート回答数が減少傾向にあるため、窓口相談者等へ依頼する。	
商談会事業	地域商談会やアライアンスパートナー発掘市事業、ザ・ビジネスモールへ参画し、企業交流の場を提供する。企業のビジネスチャンスの場を創造し、取引の拡大に繋げる。	1. 地域商談会参加企業数 6社 2. 7/7/25/ハ-け発掘市事業参加企業数 10社 3. ザビジネスモール活用事業者 15社 4. 異業種交流会参加企業数 18社 20名	地域内 中小・小規模事業者	指標	商談会参加延企業者数 (達成度 89.1%)	指標	(達成度 %)	新たな取引先やパートナーと出会う機会を創造しており、オンラインやネットの活用も実施している。また、当所にて異業種交流会を実施し、新たなビジネスチャンスの場を作った。	総合評価	B	自己評価 C	調査結果 B	満足度	補足	目標① 下げる	目標②	今年は増加したため、現在の数を保つようとする。	
雇用促進事業	地域企業の就労者確保や定着促進を図り、意欲と能力のある担い手の育成対策を推進する。	1. 新入社員セミナー等の開催 12社 28名 2. 永年勤続従業員表彰の実施 9社 19名 3. 市内事業所の人材確保事業 年2回 延べ73社	小規模事業者及び中小企業を中心とした管内企業社員	指標	延参加数 (達成度 109.1%)	指標	(達成度 %)	人手不足を一番に挙げる事業所も多く、新卒者が市内事業所に就職してもらおう機会になることを期待している。	総合評価	B	自己評価 B	調査結果 B	満足度	補足	目標① 上げる	目標②	人手不足は重要な課題であるため、新たな方法も模索しながら事業を進めていく。	
人材育成事業	各種検定事業の推進により、職業能力の開発やキャリアアップを図り、将来に向けた地域産業の健全な発展に寄与することを目的とする。	1. 珠算検定の実施 年3回 636名 2. 簿記検定の実施 年3回 65名	小規模事業者及び中小企業社員及び市民	指標	延参加人員 (達成度 140.2%)	指標	(達成度 %)	検定の内容は、ビジネスに直結しており、企業が求める人材育成や、自己研鑽のひとつの目標として利用されている。	総合評価	A	自己評価 B	調査結果 A	満足度	補足	目標① 下げる	目標②	受験方法の多様化によるものなのか検定の実験者数が減少しているため。	
部会・委員会事業	商工業事業者にて構成する部会あるいは委員会の活動を通じて参加企業の発展に資することを目的とする。	1. 部会開催 11回 95人 2. 委員会 2回 27人 延べ13回	小規模事業者を中心とする会員事業所	指標	延回数 (達成度 56.5%)	指標	(達成度 %)	委員会・部会は、同業種で構成されており、業界の情報交換や意見の集約の場となっている。	総合評価	B	自己評価 C	調査結果 A	満足度	補足	目標① 廃止	目標②	各委員会、部会活動により、事業者の抱える問題を伺う機会のため活発に活動する。	
福利厚生事業	中小企業の経営と持続的な雇用安定を図るために、各種共済制度の普及啓蒙により福利厚生充実と企業人材育成に資することを目的とする。	共済事業の推進 1. 特定退職金共済制度 647件 2. その他共済事業 924件	中小・小規模事業者	指標	延加入者数 (達成度 98.2%)	指標	(達成度 %)	従業員退職金制度は、従業員定着や企業の福利厚生者の充実役に立ち、企業や経営者のリスクに対応した共済は、経営の安定化に貢献している。	総合評価	B	自己評価 B	調査結果 B	満足度	補足	目標① 下げる	目標②	減少傾向にあるため、PR等に努め加入者を増やし、減少幅を減らしていきたい。	

2025年度事業実績報告の概要（小規模事業経営支援事業費補助金関係）

団体名： 稲沢商工会議所

事業名	事業概要（背景・目的）	事業実績	主たる対象者	事業評価											備考					
				目標①			目標②			得られた効果	A B C D 評価					今後の展開・改善点等				
				指標	委託事業場 (達成度 99.8%)		指標	(達成度 %)			総合評価	A	事業評価側の	自己評価		調査結果 事業者への	満足度	補足	目標①	目標②
労働保険事務組合支援事業	労働保険事務組合事業は、事業者の委託を受けて、事業主に代わり労働保険料の申告納付と労働保険に関する情報提供や各種届け出の事務手続きを行っており、事業主の事務負担軽減や、労働保険適用促進、労働保険料の適正な徴収に繋がるため、事務組合事業の支援をする。	1. 委託事業場 275事業所 2. うち新規委託事業場 2事業所 3. 一人親方委託事業場 154事業所 4. うち一人親方新規委託事業場 18事業場 合計429事業場	中小・小規模事業者	指標	委託事業場 (達成度 99.8%)		指標	(達成度 %)		労働保険への加入促進と、情報の提供、労働保険料申告を行う事務組合を支援することで、法令遵守、事務の効率化などに役立っている。					総合評価		A	事業評価側の	自己評価	調査結果 事業者への
目標数値	430	実績数値	429	目標数値	実績数値	目標数値	実績数値	目標達成度	B		A	必要性	上げる	実施方法①		実施方法②				
税務関係団体支援事業	税務行政支援団体である青色申告会・法人会組織の活動サポートと事業運営を支援することにより、行政団体はじめ地域社会への貢献に寄与し、地域商工業者の経営安定に資することを目的とする。	1. 稲沢市青色申告会 会員数181事業所 複式簿記による自己記帳の推進と適正申告指導及び組織強化 2. (公社)一宮法人会稲沢支部 会員数473社 国税・地方税の租税教育の推進と組織強化	中小・小規模事業者	指標	会員数 (達成度 100.6%)		指標	(達成度 %)		青色申告会や法人会の支援を通じ、税への理解を深め、青色申告や電子申告の推進や、インボイス制度への対応等を周知を行った。	総合評価	A	事業評価側の	自己評価	調査結果 事業者への	満足度	補足	目標①	目標②	稲沢市青色申告会の会員数は毎年、減っており、目標値を下けている。当所の確定申告支援にも限界があることから、青色申告会と協力をしながら確定申告支援を行う必要がある。
目標数値	650	実績数値	654	目標数値	実績数値	目標数値	実績数値	目標達成度	B							A	必要性	下げる	実施方法①	
産業団体等支援事業	稲沢市商業協同組合や稲沢市商店街連合会、管内各商店街ならびに発展会の活動サポートと事業運営に協力し、地域の商業振興の活性化と組織基盤強化、地域の消費喚起を図る。また稲沢市が行うデジタル商品券事業に協力することで市内事業者のPRや店舗のデジタル化を推進する。	商業団体加入延会員数94事業所 1. 稲沢まつり協賛の大売り出し事業への支援 参加事業数24社 2. 商業協同組合の共通商品券発行事業への支援 3. デジタル商品券 (いなかPAI) 事業 参加事業者数591社	小規模事業者を中心とする商店街等組織	指標	デジタル商品券参加事業者数 (達成度 98.5%)		指標	(達成度 %)		小売・サービス業の廃業が相次ぎ、弱体化する商業団体を支援することで、地域の活性化を保つ役割を担っている。「大売り出し」を各商店街、共同で開催し、抽選会を実施した。また商業団体に協力を得て、市のデジタル商品券事業に協力し、市内の消費拡大にも貢献した。	総合評価	A	事業評価側の	自己評価	調査結果 事業者への	満足度	補足	目標①	目標②	商品券は市内で利用されるため市内事業者に売上増となるチャンスがあることをPRし、参加店舗が増えるよう努める。
目標数値	600	実績数値	591	目標数値	実績数値	目標数値	実績数値	目標達成度	A							A	必要性	現行どおり	実施方法①	
				目標数値			目標数値							B	A	必要性	現行どおり			

※ 経営発達支援事業として認定を受けた事業については、備考欄に○を付しています。  
 ※ 事業評価欄において、1つの事業で目標が2つある場合、目標達成度の評価は2つの平均となります。  
 ※ 記載内容についての詳細資料は、各団体において整備しています。